

|       |              |         |   |     |         |     |   |     |      |
|-------|--------------|---------|---|-----|---------|-----|---|-----|------|
| 科目名   | プレゼンテーション    |         |   |     |         |     |   | 年度  | 2026 |
| 英語科目名 | Presentation |         |   |     |         |     |   | 学期  | 前期   |
| 学科・学年 | 応用生物学科 2年次   | 必/選     | 選 | 時間数 | 15      | 単位数 | 1 | 種別※ | 講義   |
| 担当教員  | 森内 寛         | 教員の実務経験 |   | 無   | 実務経験の職種 |     |   |     |      |

**【科目の目的】**  
 様々な場面で必要とされる、プレゼンテーション能力を磨きます。

**【科目の概要】**  
 様々な場面で必要とされる、プレゼンテーション能力を磨きます。

**【到達目標】**  
 A. 授業にはすべて出席する必要がある。体調管理を万全に整え、遅刻欠席のないように務めることができる。  
 B. 自身の意見をまとめることができる。  
 C. わかりやすい資料作りができる。  
 D. 資料を用いて自身の意見を発表できる。

**【授業の注意点】**  
 キャリアサポートブックやB検の教科書を利用しながら各項目について学ぶ。服装、礼儀作法、電話のかけ方などはロールプレイングにて身につける。授業と同時進行で就職活動・進学試験が進むので、授業内容をしっかり身につけることが結果に直結する。授業時数の4分の3以上出席しない者は評価を受けることができない。

| 評価基準＝ルーブリック  |                         |                         |                                |                                     |                                      |
|--------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| ルーブリック<br>評価 | レベル5<br>優れている           | レベル4<br>よい              | レベル3<br>ふつう                    | レベル2<br>あと少し                        | レベル1<br>要努力                          |
| 到達目標<br>A    | 本科目の授業に無遅刻・無欠席である。      | 本科目の授業に1回だけ遅刻した。        | 本科目の授業に2回以上遅刻または1日欠席した。        | 本科目の授業に3回以上遅刻または2日欠席した。             | 本科目の授業に3日以上欠席した（出席時数の4分の3以上出席していない）。 |
| 到達目標<br>B    | 非常に明確で論理的な意見の表現ができる     | 比較的明確で論理的な意見の表現ができる     | 一部明確性や論理性に欠けるが、基本的な意見は表現されている  | 一部意見が不明確であり、論理的な根拠があまり示されていない       | 意見が不明確であり、論理的な根拠が示されていない             |
| 到達目標<br>C    | 非常にわかりやすく効果的な視覚資料を作成できる | 比較的わかりやすく効果的な視覚資料を作成できる | 一部わかりにくさがあるが、基本的な情報伝達は可能       | 一部わかりにくさがあり、基本的な情報伝達もやや不足している       | 視覚資料があまり効果がなく、情報の伝達が不明瞭              |
| 到達目標<br>D    | 非常に論理的で説得力のある発表が行える     | 論理的で説得力のある発表が行える        | 発表の流れや説得力に一部の欠点があるが、基本的な発表は行える | 発表の流れや説得力に一部の欠点があり、基本的な発表力もやや不足している | 発表の流れが悪く、聴衆を説得する能力に乏しい               |
| 到達目標<br>E    |                         |                         |                                |                                     |                                      |

**【教科書】**  
 なし

**【参考資料】**  
 必要に応じて、プリントを配布する。

**【成績の評価方法・評価基準】**  
 課題や授業内に行われる発表、積極的な授業の参加度など総合的に判断し評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

| 科目名  |                   | プレゼンテーション                                          |                          |                                            | 年度   | 2026 |
|------|-------------------|----------------------------------------------------|--------------------------|--------------------------------------------|------|------|
| 英語表記 |                   | Presentation                                       |                          |                                            | 学期   | 前期   |
| 回数   | 授業テーマ             | 各授業の目的                                             | 授業内容                     | 到達目標＝修得するスキル                               | 評価方法 | 自己評価 |
| 1    | プレゼンテーション基本①      | プレゼンテーションの基本的なスキルを理解し、準備の重要性を認識する。                 | 1 定義と重要性                 | 基本的なプレゼンテーションスキルを理解する。                     | 1    |      |
|      |                   |                                                    | 2 プレゼンテーションの準備と計画        | プレゼンテーションの準備と計画の重要性を認識する。                  | 1    |      |
| 2    | プレゼンテーションの構成と論理展開 | プレゼンテーションを論理的かつ効果的に構成する能力を向上させる。                   | 1 プレゼンテーションの構成方法         | プレゼンテーションを論理的に構成できる能力を向上させる。               | 1    |      |
|      |                   |                                                    | 2 プレゼンテーションの流れの作成        | 情報の整理とプレゼンテーションの流れの作成能力を磨く。                | 1    |      |
| 3    | 視覚資料のデザインと使用方法    | 視覚資料を適切に設計し、プレゼンテーションの情報伝達を助ける能力を習得する。             | 1 視覚資料の基本デザイン            | 視覚資料の適切なデザインと使用方法を習得する。                    | 1    |      |
|      |                   |                                                    | 2 視覚資料の作成と使用方法           | 視覚資料を効果的に利用してプレゼンテーションの情報伝達力を高める。          | 1    |      |
| 4    | 話し方と身振りの練習        | 話し方と身振りをを用いて自然で魅力的なプレゼンテーションを行う能力を向上させる。           | 1 話し方の基本技術               | 自然な話し方と魅力的な声の使い方を身につける。                    | 1    |      |
|      |                   |                                                    | 2 身振りと表情の練習とフィードバック      | 効果的な身振りと表情を練習し、フィードバックを通じて改善する能力を養う。       | 1    |      |
| 5    | プレゼンテーションの実践      | 実際のプレゼンテーションを通じてフィードバックを受け入れ、改善する能力を発展させる。         | 1 プレゼンテーションの実施           | 実際のプレゼンテーションを通じてプレゼンテーションスキルを実践する。         | 1    |      |
|      |                   |                                                    | 2 フィードバックセッション           | フィードバックを受け入れ、次回のプレゼンテーションの改善点を明確にする能力を高める。 | 1    |      |
| 6    | 特別テーマ             | 自身の関心や専門分野に基づいたプレゼンテーションを準備し、実施する能力を育成する。          | 1 特定のテーマに基づくプレゼンテーションの準備 | 自身の関心や専門分野に基づいたプレゼンテーションを準備し、実施する能力を向上させる。 | 1    |      |
|      |                   |                                                    | 2 フィードバックとディスカッション       | 特定テーマに関する深い理解とフィードバックの受け入れを行う。             | 1    |      |
| 7    | 最終プレゼンテーション       | 最終プレゼンテーションを通じて全ての学習成果を発揮し、振り返りを通じて今後の自己改善の道筋を立てる。 | 1 最終プレゼンテーションの実施と評価      | 最終プレゼンテーションで全ての学習成果を実践する。                  | 1    |      |
|      |                   |                                                    | 2 学習の振り返りと今後の自己改善計画の立案   | 学習の振り返りを通じて今後のプレゼンテーションスキルの改善計画を立てる。       | 1    |      |
| 8    | まとめ               | 第1回から7回までの内容を総復習する。                                | 1 第1回から7回までの内容を総復習する。    | 第1回から7回までの内容を理解している。                       | 1    |      |

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等